



〔発行所〕 一般社団法人 儀礼文化学会
 〒160-0012 東京都新宿区南元町 13-7
 電話 03 (3355) 4188



大本山 中山寺 桜越しに見える五重塔

桜舞い稚児が彩る無縁経

〔兵庫県宝塚市 開創千四百年 聖徳太子創建 中山寺〕

写真と文 大本山 中山寺

北撰の地に紫雲たなびくといわれる中山寺は、聖徳太子の創建とされる、わが国最初の観音霊場です。第十四代仲哀天皇の先后大中姫とその子麿坂、忍熊皇子の追善供養のため、また聖徳太子、蘇我馬子との政争に敗れた物部守屋の霊を鎮めるために建立されたと伝わります。年中行事の一つ「無縁経大会式」は、聖徳太子が開山されてから、四月中頃にご本尊に、国土安穩・仏教興隆の祈願を行い、山頂にて神武天皇より仲哀天皇にいたる歴代の皇霊を供養する法会が始まりと伝えられ、現在は四月第一日曜日に有縁無縁の諸聖霊を供養する行事として行っています。

当日は、一般公募したお稚児さん約四〇人が、はかま姿に金烏帽子をつけ、法会に彩を添えます。また、本堂の回廊から蓮の花びらをかたちどった「散華」約千枚をまきます。持ち帰るとご利益があると、本堂を取り巻く多くの参詣者は毎年受け取っています。



無縁経大会式でのお稚児さん

●無縁経大会式
 兵庫県宝塚市中山寺 大本山中山寺
 祭日 四月第一日曜日 午後二時